



漁業のインフラを守るために立ち上がる！ 株式会社 須佐海興

先代との約束、
従業員の想いを胸に
事業継承

地域密着の事業をめざして
ド根性の説明会

マリンレジャーで
須佐観光を活性化

先代との約束、従業員の想いを胸に事業継承

イカの1本釣りで有名な須佐漁港では、イサキや甘鯛などの天然高級魚が泳ぎ、釣り人にとって絶好の場所。その沿岸に新しい事務所を構えたのが、株式会社須佐海興さまです。かつて須佐地区で船の整備を行っていた日本海コマツサービスの事業を継承し、新たな名前で2024年11月に開業されました。

代表の西田さまは下関市のご出身で、以前は大手自動車メーカーの整備士でした。子供の頃から釣りが好きで、学校が終わったら海辺に行って、釣りや貝拾いをして過ごしていたそうです。初めて須佐地区を訪れたのは約20年前。豊かな須佐湾を眺めたときに、不思議と子供時代の思い出が一気に蘇ってきたそうです。やがて何度も釣りに訪れるうち、西田さまは先代の社長と顔馴染みに。昨年「事業を継いでくれないか？」と声を掛けられるようになりました。初めは社交辞令だろうと思っていた西田さまですが、その2ヶ月後に先代が入院。見舞いに訪れた際、鬼気迫る表情で「自分も以前は自動車整備に務めていた。だから西田さんにもできる。このままでは須佐の水産業が消滅してしまう。」と言われ、これは本気だ、と感じられた西田さま。先代率いる従業員から「西田さんがやるなら付いていきます」と心強い言葉を受け、事業の継承を決意。「やります」と答えた翌日に、先代は逝去されました。



地域密着の事業をめざして ド根性の説明会

ゆるやかな減少傾向にある水産業界で、西田さまはこれからどのように会社を守っていくかを考えました。そこで打ち出したのは、カスタムなどの柔軟な要望にも応える船の販売に、釣りやクルージングを楽しむマリンレジャーの展開です。実現するには須佐漁港を一般開放すること、そして地元漁業者から出資を募ることが必要です。まずは地域の理解を得るために説明会を開催されました。初めはほとんどの参加者が否定的でしたが、西田さまは諦めずに何度も交渉を行い、繰り返し説明会を実施。西田さまの存在が知られるようになると徐々に賛同の声が上がるようになりました。3カ月に及ぶ並々ならぬ努力の末に、地域からの出資と港の開放を得ることができました。

マリンレジャーで須佐観光を活性化

漁業が盛んな港町では、船の維持管理のために整備工場が欠かせないと言われています。安心安全な漁業のインフラを守るためにも、これから新たな事業に挑戦される須佐海興さま。「須佐地区の水産業を盛り上げて、まちに若い人を増やしたい。地域の魅力ある雇用創出にも貢献したい。外からの交流人口を増やすことが全てに繋がると思うので、できることをやっていきたい」と西田さまは話されました。美味しいイカやお魚で有名な須佐の海が、新たな観光漁業でこれから更に盛り上がります！みなさま是非、ご注目くださいね。

【あげる！はぎビズ】 萩市ビジネスチャレンジサポートセンター

【TEL】090-7130-4520 【MAIL】info@hagibiz.net

【HP】<https://hagibiz.net/info/>

【相談時間】9:00～17:00

【定休日】日曜日、月曜日、祝日、年末年始

〒758-0022 山口県萩市大字浜崎町209番

萩市インキュベーションセンター内

はぎビズHP
ブログで毎日情報発信中♪



はぎビズだより
バックナンバー

